

神戸親和大学の学生を対象とした防災学習を実施しました！

教師や保育士を目指す学生を対象に実施する「防災・安全教育」の授業の一環として、六甲山地で過去に発生した大きな土砂災害の歴史や、六甲砂防事務所にて取り組んでいる砂防事業について講義を行いました。

当該大学からは例年出前講座の依頼を受けており、土石流等の記録映像でどのような現象なのかを知り、土砂災害に対する事前の備えや、早期避難の重要性について学んでもらいました。将来教育者として子どもたちに伝えることで、防災意識が広く受け継がれていくことを期待しています。

概要

日時：令和7年11月11日（火）13:00～14:30

場所：神戸親和大学1号館 114教室

参加人数：神戸親和大学 先生および学生 約110名

講座内容：六甲山地の特徴、過去の災害、砂防事業の歴史、六甲砂防事務所の事業概要、土石流等の映像

【六甲砂防事務所の事業概要等の説明の様子】



【土石流等の映像放映の様子】



～講義の感想をいただきました～

- ・砂防設備は土砂流出を止める設備だと思っていたが、流木も止めることが出来る設備だということを知り、とても印象に残りました。
- ・よく夜景を見に行く六甲山の木々の多くが、元々が植林されたものだとして驚きました。次に訪れるときは景色だけではなく、どんな場所で砂防対策などがされているかにも注目してみたいと思います。
- ・将来、子ども達に防災を伝える際は、映像や写真を通して「もし砂防がなかったらどうなるのか」「どのように人々の生活が守られているのか」を説明することで、その深刻さをより実感し、子どもたちの自分ごととして考えられるようになると思いました。
- ・六甲山では崩れやすい地形や河川勾配から、土砂災害のリスクが非常に高いことが分かったが、その下流には砂防堰堤が建設され市街地が守られているということが理解できました。



当該学部の学生以外にも、見学者が多数来られていました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

六甲砂防事務所HP <https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>

